221
2024.9.15

長崎郵趣

料金改定新切手　伊藤 純英

料金改訂新切手

伊藤　純英

本年10月１日から郵便料金の改訂が行われる。消費税導入に伴う料金改定を除けば，大幅に料金が改訂されるのは平成６年に封書料金が62円から80円に変わって以来なので，実に30年ぶりである。下記のような葉書大のチラシが郵便局で配布されて，周知されていた。

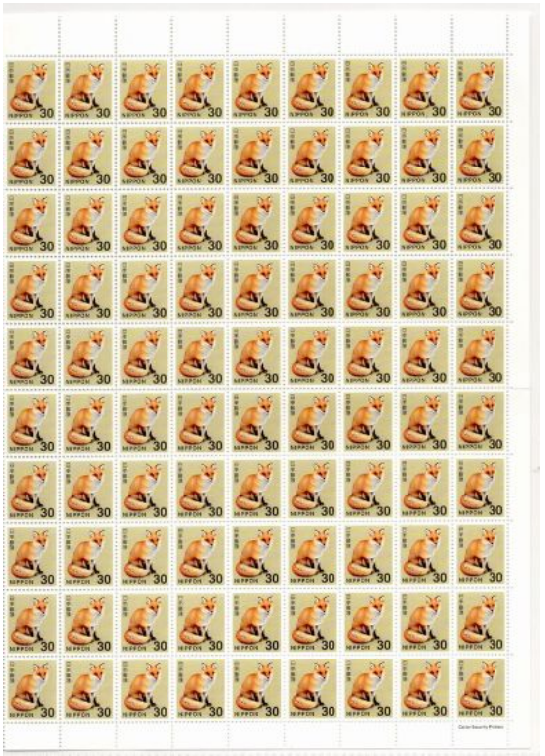
最近の料金改定の傾向では，早い時期に新料金の切手が発行されるようになってきた。今回も約１ヵ月前の９月２日に発行された。９月１日が日曜日なので月曜日の２日の発行となった。新封書料金110円，新葉書料金85円のほかに旧料金との差額用切手が準備され，普通切手９種類，慶弔切手３種類が発行された。そのほかに官製葉書，往復葉書，スマートレター，レターパックライト，レターパックプラスも発行された。以上は事前に告知されていたものであるが，実は表紙に載せた３０円切手も同日から再販売されていたのである。

８月末頃からフェイスブックなどで発売の情報が流れていたのだが，９月２日に郵便局に行くからその時に買おうぐらいの気持ちでいた。訪れた郵便局によると９月２日から販売するようにとの通達があったそうだが，局によっては８月にフライングで販売したというのが，どうも実態らしい。現時点では久留米の８月28日が一番早い出現とのこと。

この再販売分で衝撃的なのは，銘版が100番位置にあるということ。発行当時は国立印刷局銘版98番で，カラーマークがＡ版は下９４番，Ｂ版が上４番位置，係数番号が30番位置だった。ほどなくカルトー社銘版が出現。この時は銘版位置は98番，カラーマークは下94番のみで係数番号なしだったが，今回は銘版位置が100番でカラーマーク，係数番号ともになし。

さらに，銘版表示が「Cartor Security Printing」から「Cartor Security Printers」に変わったため，銘版付単片でも区別可能という。

私の知る限り日本切手で銘版が100番位置にあるというのは新登場。その意味で，衝撃的な切手となった。



近場の郵便局を５局ほど廻ったが，新切手にしては十分な数の配布がなかったというのが特徴。島原局でも各１シート。ミニレターは来ていないとのことだったので有明局で調達。